

# 教育史だより



第3号（平成25年12月6日更新）

## マックマナスをご存知ですか？

ロバート・P・マックマナスは、昭和21年11月から24年11月まで占領軍の地方軍政組織である神奈川軍政部(のち民事部)の民間教育課長として在任し、戦後の教育改革にらつ腕をふるった人物です。

予告なしの学校視察、教職適格審査(\*)への介入、新しい教育方法の強力な推進などを行ったとされ、「マックマナス旋風」として恐れられたとされています。

しかし、一方では彼の活動が戦後の教育改革を着実に実施・普及させたという評価もあります。英会話講座の講師を勤めたり、図書館建設を進めて図書の寄贈もしています。また、昭和25年に関東民事部に移り、管内各都県の教師と定期的に行ったガイダンスの研究会は、神奈川県が全国に先駆けて導入したスクールカウンセラー制度（昭和26年）につながりました。

マックマナスについては、今後、確実な資料に基づく再評価が必要となるでしょう。

なお、当センターが翻訳、刊行した『神奈川軍政部月例活動報告書（教育及び民間情報）』（2001刊、2010増補改訂）は、マックマナスが上部組織である第八軍（のちGHQの民事局）に対して毎月の活動内容を報告したものです。

\*教職適格審査とは、占領政策の一環で、軍国主義的、極端な国家主義的な教職員の排除を目的としたものです。詳しくは、「教育史だより」第4号に掲載しています。

関東民事部時代のマックマナス



マックマナス（右端）と第 2 次米国教育視察団  
（津久井郡中野中学校にて）



※いずれも昭和 25 年頃の写真です。

問合せ先

神奈川県立総合教育センター  
学校教育支援課 学校支援班  
(0466)81-1659